

地域防災力の向上を目指して

9月7日、大規模災害時の指定避難所となっている猿賀小学校で、避難所設置・運営訓練が行われました。

当日は、自主防災組織など8団体（日沼、蒲田、新山、八幡崎、猿賀、中佐渡、長田、みなみの）の市民や市役所避難所担当職員のほか、青森県防災士会弘前支部の会員、青森県危機管理局の職員など約70人が参加しました。

▶講習会



参加者らは、まず一般社団法人男女共同参画地域みらいねっとの代表理事である小山内世喜子氏の防災講演会を受講し、様々な人々に配慮した避難所づくりや柔軟な避難所運営の大切さを学びました。

▶避難所実地訓練



その後、場所を体育館に移し、各担当班に分かれて、避難所運営会議の開催や炊き出し訓練、段ボールを利用した簡易ベッドの作成など、実際の状況を想定した運営所の運営方法を体験し、災害時の対応力向上を目指しました。



炊き出し訓練（猿賀町会自主防災会）



受付訓練



避難所設営訓練



物資搬入訓練